

令和2年 第1回金沢市教育委員会定例会議

- 1 日 時：令和2年1月22日（水） 13時30分～15時00分（予定）
- 2 場 所：金沢市庁舎 2階 201会議室
- 3 審議等

頁

- 議案第1号 金沢市指定文化財の指定について
(文化財保護課)・・・1
- 議案第2号 金沢市図書館協議会委員の委嘱について
【非公開案件】(図書館総務課)・・・3
- 報告第1号 令和元年度「金沢市いじめアンケート」の調査結果について
(学校指導課)・・・5

その他

- (1) 令和元年度金沢市立工業高等学校卒業予定者の進路状況について
- (2) 次回の定例会議の日程について

金沢市指定文化財の指定について

令和2年1月22日 提出

金沢市文化スポーツ局
局長 嶋浦 雄峰

答 申 書

令和元年11月13日の教育委員会で金沢市指定文化財に指定の諮問があった下記の文化財について、金沢市指定文化財としてふさわしいものとして答申します。

記

- 1 有形文化財 建造物「奥村家（宗家）上屋敷跡土塀」
- 2 有形文化財 彫刻「銅造菩薩立像」

令和2年1月17日

金沢市文化財保護審議会
会 長 山 崎 達 文



金沢市図書館協議会委員の委嘱について
【非公開案件】

令和2年1月22日 提出

金沢市教育委員会
教育長 野口 弘

令和元年度「金沢市いじめアンケート」の調査結果について

令和2年1月22日 提出

金沢市教育委員会
教育長 野口 弘

令和元年度「金沢市いじめアンケート」の調査結果について

1 調査概要

(1) 調査目的

金沢市立小・中・高等学校のいじめの実態、いじめの背景、いじめに対する児童生徒の心理状態等を把握し、学校でのいじめの未然防止・早期対応に活用する。

(2) 実施時期

令和元年10月

(3) 調査対象

金沢市立小・中・高等学校に在籍する全ての児童生徒

(4) 内 容

「小学校1～3年生用」、「小学校4～6年生・中学校・高等学校用」に分け、無記名方式で実施（※問3・7・8・10・12は「小学校1～3年生」では未実施）

(5) 調査人数

- ・小学校：23,032名（1～3年生 11,341名、4～6年生 11,691名）
- ・中学校：10,643名
- ・高等学校：673名

2 調査結果より（抜粋）

小・中学校においては、全体として概ね前年度と同傾向にあるが、特に下記の結果については、今後もその推移を注視していきたい。なお、高等学校においては、1校のみのデータのため特記しない。

問3 どんないじめを受けていますか。

- 「ア 冷やかし、からかい」・・・小学校5割・中学校7割
- 「エ ひどくたたかれる」・・・小・中学校ともに増加

問5 いじめられたときどうしましたか。

- 「ア 我慢できたので何もしない」・・・小・中学校ともに4割
- 「イ 相談できず何もしない」・・・小・中学校ともに2割

問6 その後、誰に相談しましたか。

- 「ケ 誰にも相談しない」・・・小学校2割・中学校3割

問7 誰にも相談しなかった理由は何ですか。

- 「エ どうせ解決しない」・・・中学校で5割
- 「キ 迷惑をかけたくない」・・・小・中学校ともに4割

問8 相談後、いじめはどうなりましたか。

- 「ア いじめられなくなった」・・・小・中学校ともに6割

問12 あなたがいじめをした理由は何ですか。

- 「イ なんとなく」・・・小・中学校ともに2割
- 「ウ むしゃくしゃしたから」・・・小学校で2割、中学校で1割
- 「エ みんながするから」・・・小学校で増加、中学校で高い

問13 あなたはいじめについてどう思いますか。

(2) いじめられる人にも悪いところがある。

- 「ア 思う」・・・小・中学校ともに3割

(5) いじめを注意すると、自分もいじめられないか心配だ。

- 「ア 思う」・・・小・中学校ともに5割

令和元年度金沢市立工業高等学校

卒業予定者の進路状況について

令和２年１月７日現在

卒業予定者 237人	就職希望者		進学希望者	
	146人（61.6%）		91人（38.4%）	
	うち就職内定者 144人（98.6%）		うち合格者 87人（95.6%）	
	県内 125人(86.8%)	県外 19人(13.2%)		

主な就職先

民間：アール・ピー・コントロールズ、アイシー・サービスセンター、ICCシステムソリューションズ、アイナックス稲本、アサヒ装設、石川製作所、アクセス、石野製作所、EIZO、金沢医科大学、金沢商工、金沢村田製作所、北川ヒューテック、北日本ジオグラフィ、喜多ハウジング、コマツ石川、小松製作所、澁谷工業、シブヤパッケージングシステム、ジェイアール西日本新幹線テクノス、ジェイ・バス、伸晃化学、鈴木建設、第一電機工業、高松機械工業、竹松組、玉家建設、辻鉄、津田駒工業、東振精機、豊蔵組、トランテックス、トヨタカローラ石川、日機装、日海不二サッシ、日本海建設、ニューハウス工業、白山機工、ビーケープラス、BBS金明、別川製作所、ベローズ久世、ホクコク地水、ホクショー、北陸通信ネットワーク、北陸電気保安協会、北都組、北陸電力、北陸ミサワホーム、北菱電興、明翫組、みづほ工業、米沢電機アイシン精機、トヨタ自動車、中日本高速道路、西日本旅客鉄道、レールテック、熊谷組、大鉄工業、NTTフィールドテクノ、シャープアソシエイト、三菱電機名古屋製作所、住友林業ホームエンジニアリング など 99社

公務員：金沢市役所（建築）、金沢市役所（土木）、防衛省近畿中部防衛局、国土交通省北陸地方整備局、石川県警察

主な進学先

国公立：筑波大学、富山大学、石川県立大学

私立：金沢工業大学、北陸大学、金沢学院大学、金沢星稜大学、早稲田大学、中央大学、京都造形芸術大学、福井工業大学 など 20校

金沢市指定文化財の指定について

1. 有形文化財 建造物「奥村家（宗家）上屋敷跡土塀」
2. 有形文化財 彫刻「銅造菩薩立像」

奥村家（宗家）上屋敷跡土塀

- 1 種 別 有形文化財建造物
- 2 名 称 奥村家（宗家）上屋敷跡土塀
- 3 員 数 3基
- 4 所 在 地 金沢市下石引町 101 番
(住居表示：下石引町 1 番 1 号)
- 5 所 有 者 独立行政法人国立病院機構 金沢医療センター
金沢市下石引町 1 番 1 号
- 6 構造形式 版築及び木造、棧瓦葺
- 7 規 模 石積：延長 267m、上部構造：延長 235m
- 8 築造年代 江戸時代後期（宝暦大火後—安永 8 年（1779））、
大正 8 年（1919）増設
- 9 説 明

奥村家は、加賀八家^(注1)のひとつに数えられ、尾張荒子城以来の前田家旧臣である。奥村家（宗家）上屋敷跡土塀は、独立行政法人国立病院機構金沢医療センター敷地内、道路側境界に位置し、敷地正面側では国指定史跡である辰巳用水^(注1)に沿って、敷地北辺では尻垂坂に沿って並ぶ。敷地は、江戸時代前期においては、奥村家の下屋敷があり、元禄 9 年（1696）に下屋敷地の南側一部に奥村家上屋敷が移転している^(注3)。宝暦大火以降には現在の敷地全体が奥村家上屋敷地となったことが各時代の城下町絵図から推測され、上屋敷の表門は敷地北側に移転している。明治維新後は軍の所轄地となり、明治 32 年（1899）に金沢衛戍病院が新築され、昭和 12 年（1937）には金沢陸軍病院と名を変え、終戦後、国立金沢病院となり現在に至る。

土塀は、病院正面玄関北側から辰巳用水に沿って並び、T字路の交差点で折れて尻垂坂に沿って続くもの（以下、正面門左側土塀とする）、病院正面玄関南側から通用門まで辰巳用水に沿って並ぶもの（以下、正面門右側土塀とする）、通用門から南側 2 間を除き南側隣地まで並ぶもの^(注4)（以下、通用門右側土塀とする）の 3 基がある。

土塀石積は、正面門左側土塀で延長約 171m、道路側を戸室石亀甲積、敷地側を自然石積及び一部戸室石亀甲積とするが、その築造年代は、絵図と遺構との比較から、辰巳用水沿いのもので宝

暦大火後から安永8年と推測され^(注5)、交差点近くの隅切り部分とそこから尻垂坂側に伸びる直線部分は、大正8年(1919)に行われた市街電車軌道敷設工事に伴い築造された^(注6)。正面門右側土塀は延長約63mで、道路側を戸室石亀甲積、敷地側を自然石積とし、築造年代については、用水沿いの正面門左側土塀に準ずる。通用門右側土塀は延長約33mで、道路側を戸室石切石積、敷地側を自然石積とし、築造年代は不明である^(注7)。

石積上部構造は、外側が木造の軸組で、内側に版築^{※1}が残る。版築部分の築造年代を示すものではなく^(注8)、石積の築造年代と同時期の江戸時代後期と推測され、尻垂坂側については、石積と同時期の大正8年に築造されたものである^(注9)。木造の軸組は、石積上に土台を据え、間柱を立て腕木を支え、桁を受けて棧瓦葺の屋根を架け、壁は小舞下地の土塗り壁とし、道路側では豎板貼りの腰壁に上壁を漆喰塗り仕上げとし、敷地側では中塗り仕上げとする^(注10)。土台以外は、昭和16年(1941)に陸軍によって造り替えられたもので^(注11)、それ以前は道路側の仕上げは漆喰塗りであった^(注9)。

奥村家(宗家)上屋敷跡土塀は、加賀八家上屋敷跡で現存する唯一の土塀である。戸室石の精緻な石積が美しく、市内随一の規模を有し、その威容が加賀八家屋敷地の往時の風格を今日に伝える。また、近代以降の土地利用の変遷や金沢の近代都市構造の変遷と密接な関係を有し、近世のみならず、近代金沢の都市の変容の一端を物語る存在としても貴重である。

■ 注記

(注1) 平成22年2月22日指定。

(注2) 加賀八家とは、行政組織の最高権力職である年寄役を代々世襲する門閥の8家のことをいう。5代藩主綱紀の治世に成立した。

(注3) 『金沢城総合年表 前編』によると、元禄9年に前田綱紀が二ノ丸作事につき「蓮池之上御殿」に入るとあり、『奥村家譜』(天明6年・1786)には、同年に「伊予守居屋敷并蔵屋敷御用二付御取替」とあり、現在の兼六園の地にあった奥村家上屋敷を前田綱紀の「蓮池之上御殿」とするために、上屋敷を移転させたことが推測される。

(注4) 現在の通用門は、昭和58年に位置及び門口寸法が変更され、その際に、通用門と通用門右側土塀との間の土塀と、通用門両側で敷地内に矩折れに伸びた土塀を新築し、歴史的景観への配慮がなされた。

(注5) 上屋敷を描いた絵図として、安永8年(1779)の「教千代様御宮参御行

列ノ付属書」(金沢市立図書館所像)と文化9年(1812)の「勝千代様御宮参御辰助右衛宅へ御立寄之節画図」(金沢市立図書館所像)がある。両絵図は、前田家の子どもが誕生後に産土神^{うぶすながみ}へ参詣する行事の際に、金沢では卯辰観音院へ参詣後、奥村宗家屋敷に立ち寄ることが慣例化しており、その際の順路や警固の状況を描いたもので、上屋敷の「表」の部分の間取りと屋敷と土塀の配置が分かる。両絵図と遺構とを比較すると、現状の敷地側の石積で戸室石亀甲積となっている部分は、絵図の表門前の空間に現れる場所と一致することが分かり、文化9年の絵図に描かれている女中往来の門は現存している門の場所と一致する。元禄9年の上屋敷は宝暦大火で類焼し、その後、上屋敷地における建物配置が再整備されたことが推測され、それに伴い土塀を再構築したことが考えられる。

(注6) 加賀藩史料によると文政3年(1820)に奥村家下屋敷地であった土地を尻垂坂に付け替えたことが記載されており、文政11年(1828)の「金沢十九枚御絵図」から起こした重ね図でも、現在の尻垂坂の道路幅員とほぼ同じであることが分かり、大正8年の整備において、戸室石の古材が使用された可能性も残る。

(注7) 「金沢十九枚御絵図」で門が描かれている場所に、現在は土塀が建つことから、文政11年以降の築造と推測され、明治期以降の可能性も考えられる。また石積の積み方は、他の2つの土塀と異なり、道路側の下段が古めかしさを示すが、上段の積み直しは明らかで、古い石積の上に新たに築造していることが推測される。

(注8) 平成26年の屋根修繕工事の際に、版築層から陶器や瓦を採取し、新しいものとしては19世紀前半ものが確認できたが、版築表面を確認できたのは約7m程度であったことから、版築の全体的な考察が必要である。

(注9) 大正8年発行の『金沢市電車開通記念写真帖』に整備前後の写真が載る。

(注10) 日常的な修繕によりモルタル塗りに改変されている箇所もある。

(注11) 昭和58年に発行された『国立金沢病院土塀分析調査』より、元陸軍営繕所属の技師への聞き取りによる。昭和56年に尻垂坂側の改修工事を行っており、八坂付近の病院裏口から約32mの上部構造は、版築部分は撤去され木軸部分は造り替えられている。また、尻垂坂側の隅切り部分中央1間は出入口が設けられていたが、近年、周辺の石積及び土塀の意匠に倣い、塞がれている。

■参考文献

- ・『金沢城総合年表 前編』、平成30年、石川県金沢城調査研究所
- ・『金沢市電車開通記念写真帖』、大正8年、金澤電気軌道株式会社
- ・『国立金沢病院土塀分析調査』、昭和58年、国立金沢病院
- ・『前田家の子どもたち一誕生から元服一』、平成28年、金沢市立玉川図書館近世史料館企画展示資料

用語の説明

※1 版築：砂利等を含んだ土を棒等で突き固める作業を繰り返し、所定の高さまで積み上げて築造した土塀。

■ 奥村家（宗家）上屋敷跡土塀関連年表

和暦	西暦	事柄	根拠	備考
寛文7年	1667	現・兼六園の地に「奥村伊豫」の記載あり	寛文金澤図	現・兼六園の地に上屋敷を置く
元禄9年	1696	金沢城二ノ丸御殿の増改築	金沢城総合年表 前編	現在の下石引町に上屋敷を移転 (当時、奥村家下屋敷地であった場所に居屋敷を移転)
		前田綱紀が二ノ丸作事につき「蓮池之上御殿」に入る	金沢城総合年表 前編	
		「伊予守居屋敷并蔵屋敷御用二付御取替」が命じられる	奥村家譜	
享保12年	1727	勝丸様(6代吉徳の子。後の7代宗辰)の卯辰観音院への御宮参りの経路に「奥村伊予守新屋敷」と記載がある	「勝丸様御宮参二付諸事同等之留」	「新屋敷」
享保19年	1734	下石引町(北陸学院側)に「奥村河内守」の記載あり	加陽金府武士町細見図	現在の下石引町の北陸学院側に移転していることが分かる
宝暦9年	1759	宝暦の大火により「居宅類焼」	金沢大火焼失域図 奥村家譜	
安永8年	1779	教千代様(10代藩主重教の嫡男齊敬。家督を嗣ぐ直前に亡くなる。)が御宮参りで奥村家上屋敷に立ち寄るための警備図	「安永八己亥六月 教千代様御宮参御行列ノ付属書」	現在の下石引町の尻垂坂側に移転していることが分かる
寛政11年	1799	寛政大地震	加賀藩史料	被害の有無は不明であるが、小立野は「損じ薄く」とある
文化9年	1812	勝千代様(13代齊泰)が御宮参りで奥村家上屋敷に立ち寄るための警備図	「勝千代様御宮参御戻助右衛門宅へ御立寄之節画図」	安永8年の絵図に描かれた屋敷と同一の建物の平面が描かれている。一部増築等が見られる。現在も残る勝手門が描かれている。
文政3年	1830	金澤尻垂坂より小立野石引町に至る道路の通行を許す	加賀藩史料	奥村家下屋敷地であった土地を尻垂坂に付替が行われた
文政11年	1828	金沢十九枚御絵図から現在の道幅になっていることが確認される	金沢十九枚御絵図	
明治3年	1870	重臣奥村、横山、村井、今枝の4旧邸を兵隊屯所、同病院、練兵場等にあてることになった。	市史年表 金沢の百年 明治編	奥村家上屋敷が軍の病院にあてられた
明治32年	1899	金沢衛戍病院が新築	金沢医療センターHPより	金沢衛戍病院
明治42年	1909	金沢写真案内記に金沢衛戍病院の門及び土塀が写る	金沢写真案内記	現在の医療センターの出入口よりも間口が狭い
大正8年	1919	市街電車敷設整備	金沢市電車開通記念写真帖	石引通りの拡張及び市街電車開通の前後写真あり。 石引通りと尻垂坂が交差する敷地角を板塀から新たに土塀が築造されている。
昭和12年	1937	金澤陸軍病院となる	金沢医療センターHP	金澤陸軍病院
昭和16年	1941	現在の土塀に改修 内外共に現在の形状と同一であったが、過去の土塀の外壁を削って外装を行った。	国立金沢病院土塀分析調査より 元陸軍営繕元市役所建築課長・中本由雄氏聞き取り	
昭和20年	1945	金澤第二陸軍病院となる	金沢医療センターHP	金澤第二陸軍病院
昭和20年	1945	厚生省に移管され、国立金沢病院となる	金沢医療センターHP	国立金沢病院
昭和56年	1981	尻垂坂側の土塀を改修	昭和56年度文化財保護審議会資料	八坂側裏口から約36m土塀石積より上部構造をやり替え、隅切部分から八坂に向かって約50.5m部分補修
昭和58年	1983	病院増築に伴う出入口(北陸学院側)の付替を行う。土塀の一部を解体し、新築	昭和57年度文化財保護審議会資料 国立金沢病院土塀分析調査	
平成16年	2004	独立行政法人国立病院機構に移行し、金沢医療センターとして発足	金沢医療センターHP	金沢医療センター
平成26年	2014	土塀の一部を改修	文化財保護課立会い	版築層から陶器や赤瓦を採取し、新しいもので19世紀前半の赤瓦と推測される遺物を確認した。 現在の土塀の壁下地の間柱に旧桁材が転用されている。



写真1 正面門左側土塀 辰巳用水沿い



写真2 正面門左側土塀 尻垂坂沿い



写真3 正面門右側土塀



写真4 通用門右側土塀

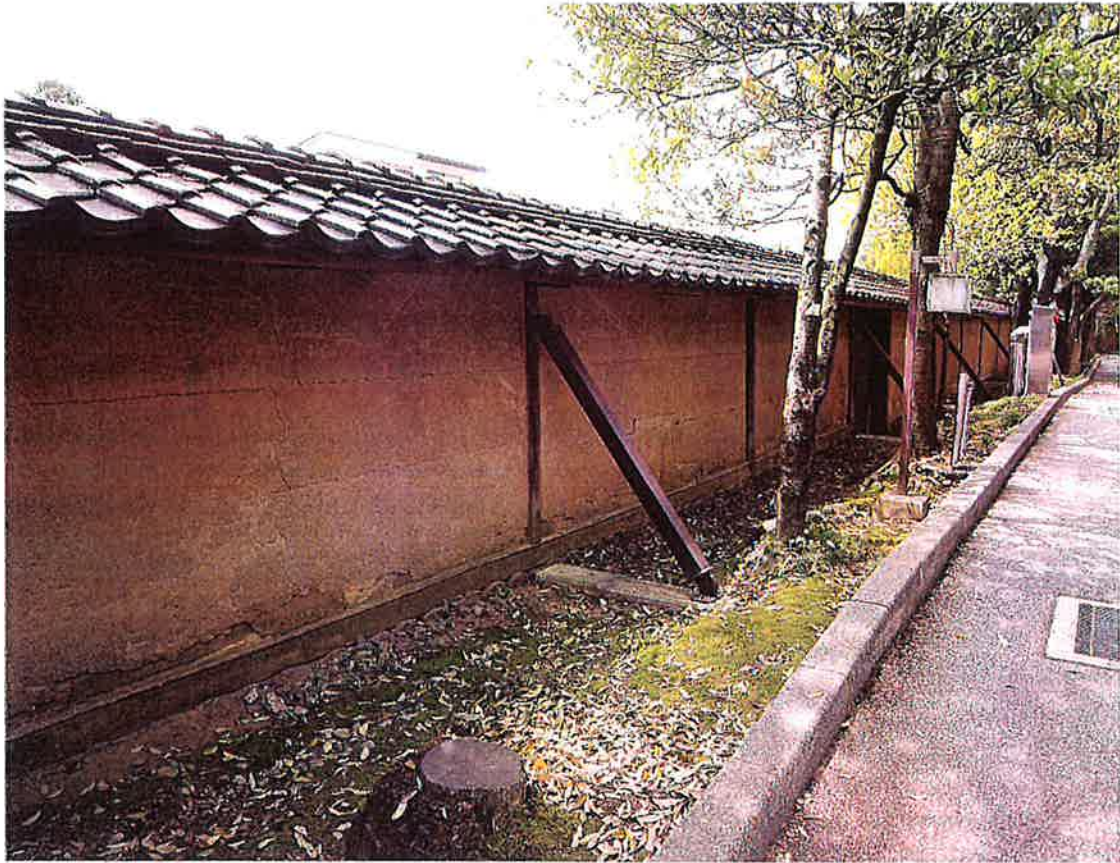


写真5 正面門左側土塀 敷地側



写真6 正面門右側土塀 敷地側

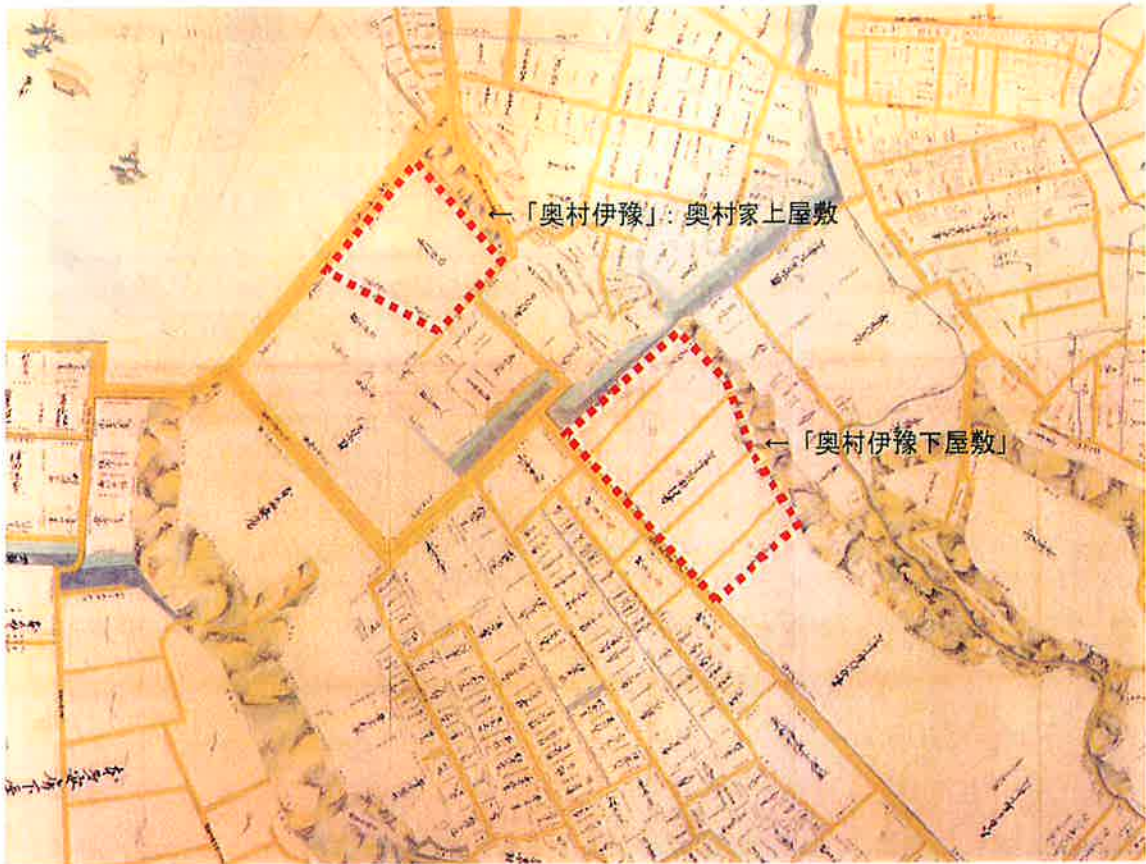


图1 金沢図（寛文7年・1667）／石川県立図書館所蔵

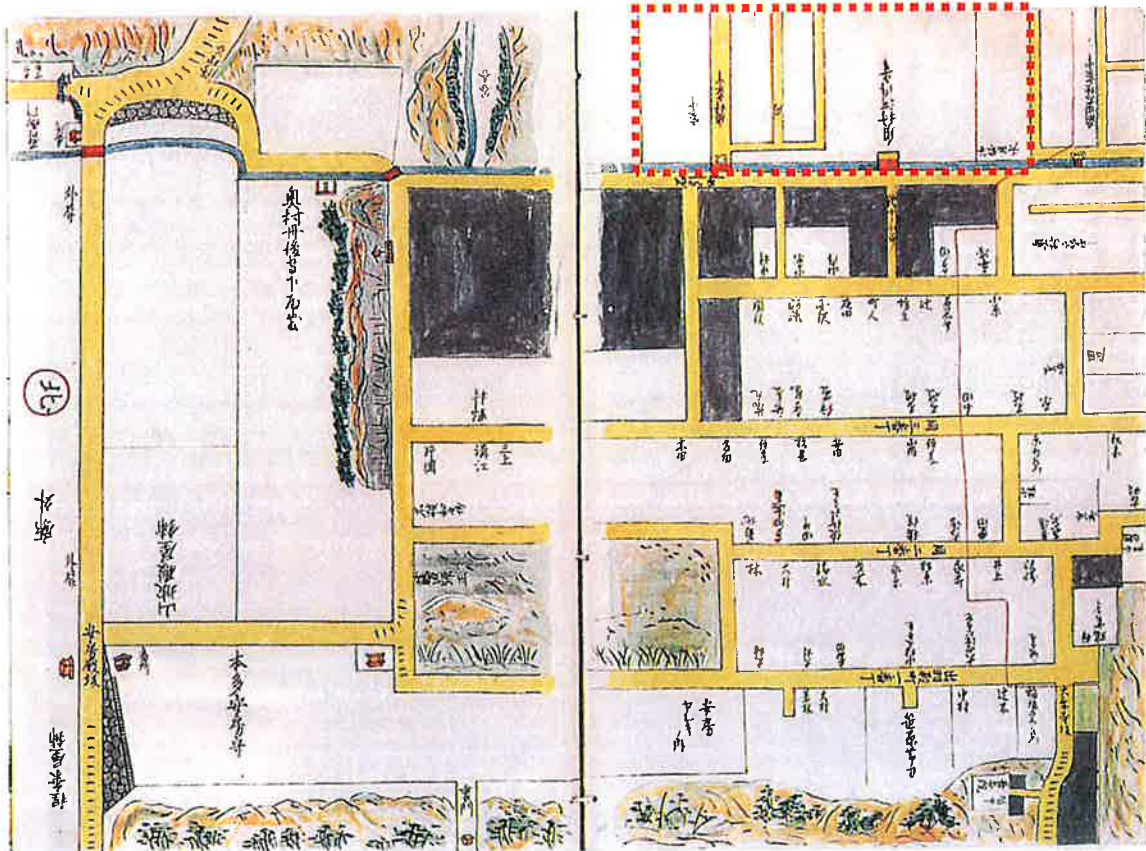


图2 加陽金府武士町細見図（享保19年・1734）／金沢市立玉川図書館所蔵

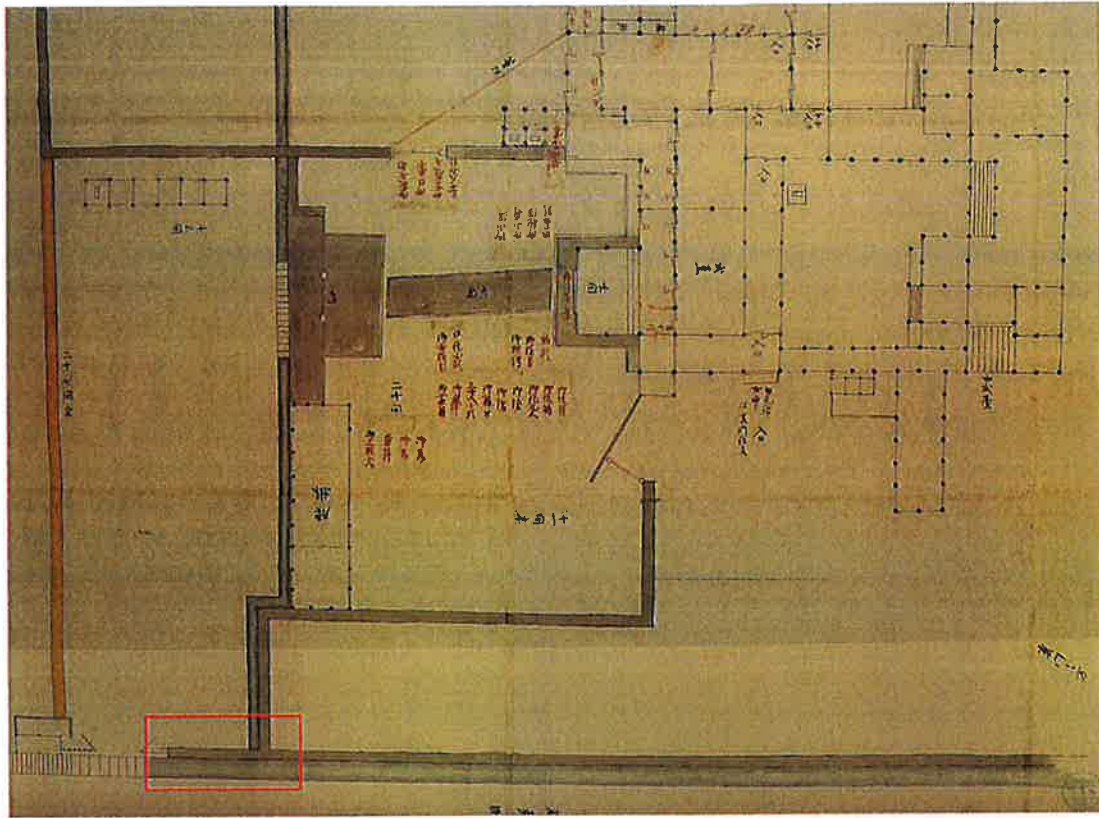


図3 教千代様御宮参御行列ノ付属書（安永8年・1779）／金沢市立玉川図書館所蔵
 ※教千代は10代藩主重教の嫡男斉敬で、家督を嗣ぐ直前に亡くなった

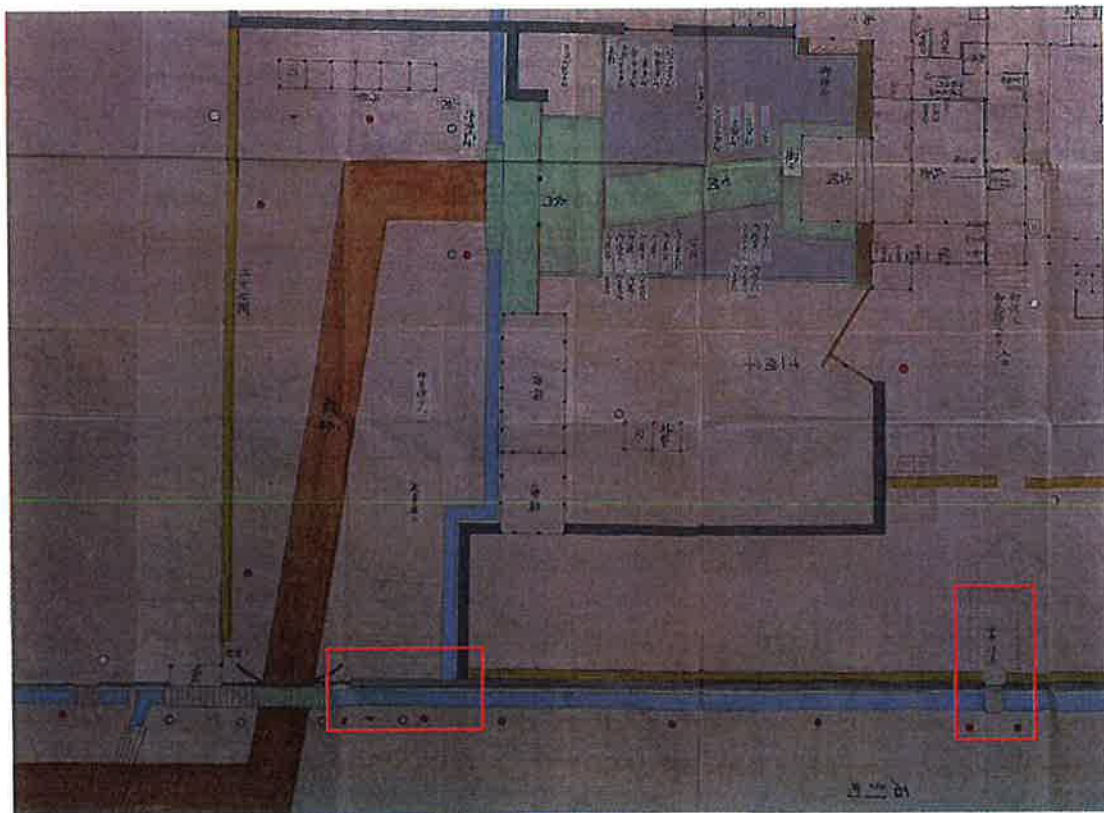


図4 勝千代様御宮参御辰助右衛宅へ御立寄之節画図（文化9年・1812）
 ／金沢市立玉川図書館所蔵
 ※勝千代は後の13代斉泰



写真7 敷地側の戸室石亀甲積 安永8年と文化9年の絵図で表門前の空間から見える箇所



写真8 正面門左側土塀に残る門 文化9年の絵図に「女中往来」の門が描かれている

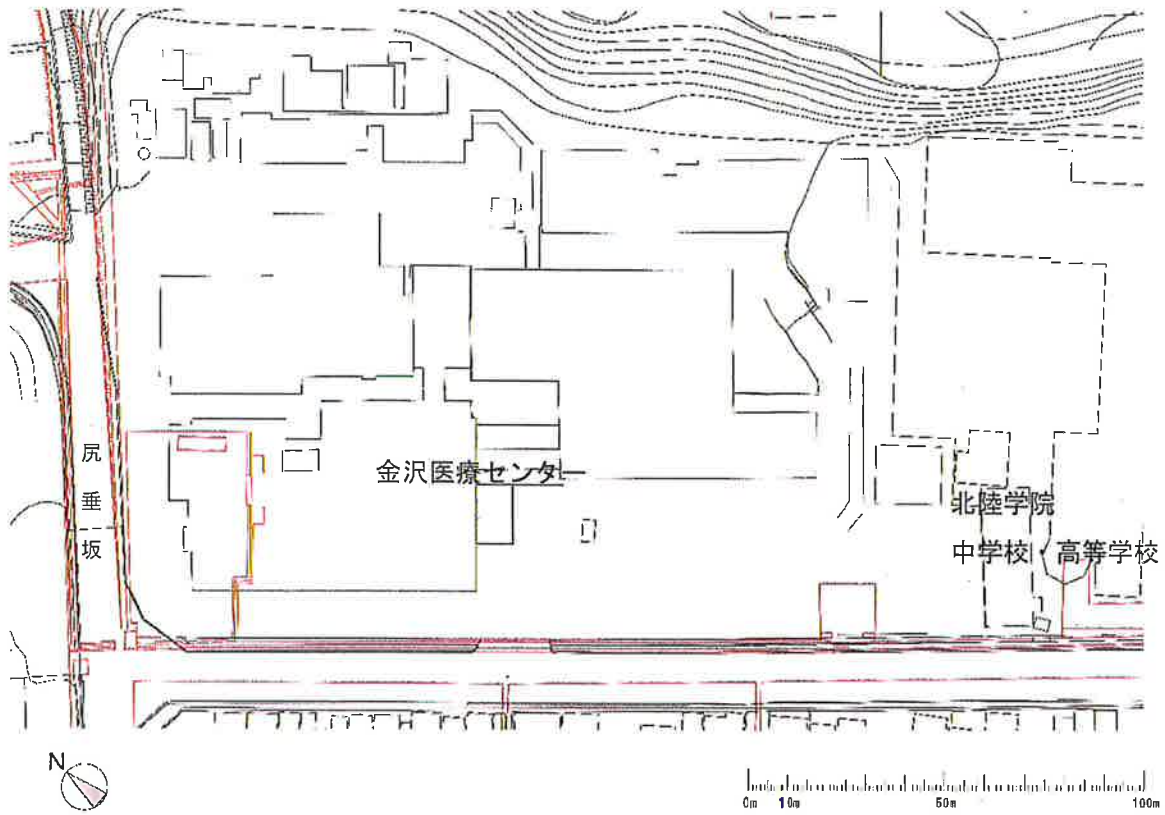


図5 文政11年(1828)の「金沢十九枚御絵図」から起こした現在の地図との重ね図
赤色の線が文政11年の測量による道路線等



写真9 交差点から辰巳用水沿いの土塀を眺める

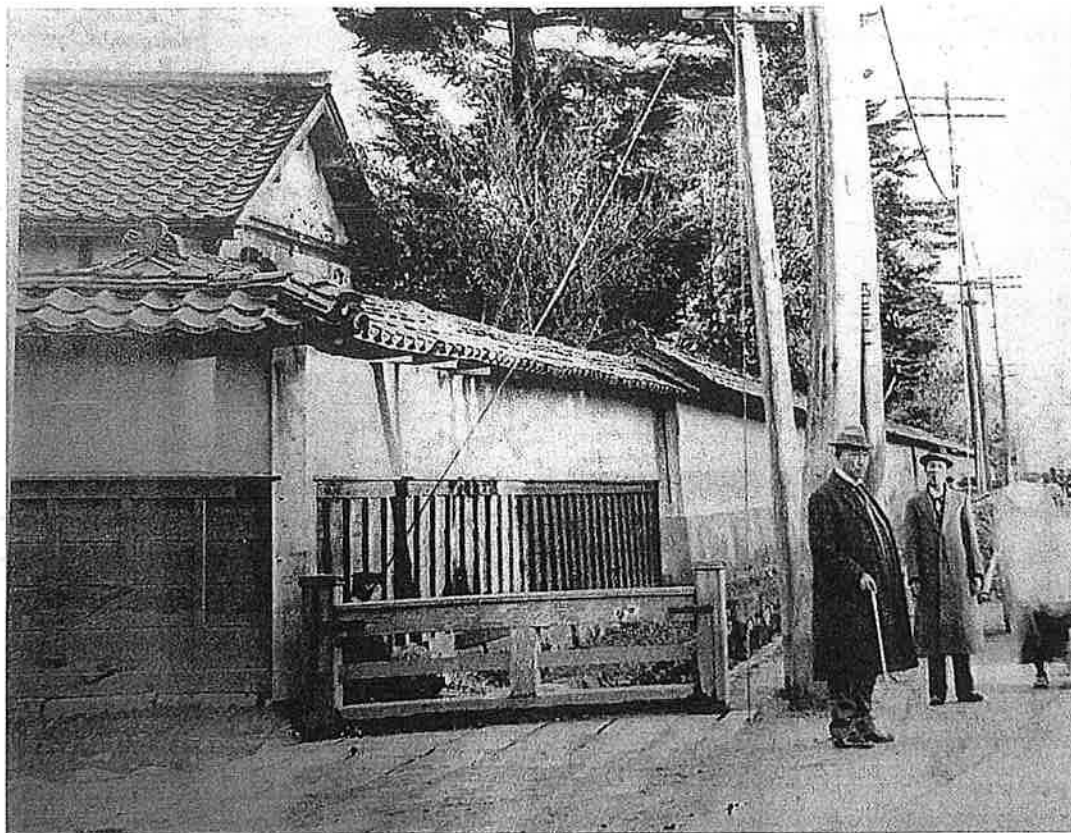


写真 10 市街電車開通前の様子（大正 6 年撮影）

『金沢市電車開通記念写真帖』（大正 8 年、金澤電気軌道株式会社発行）より

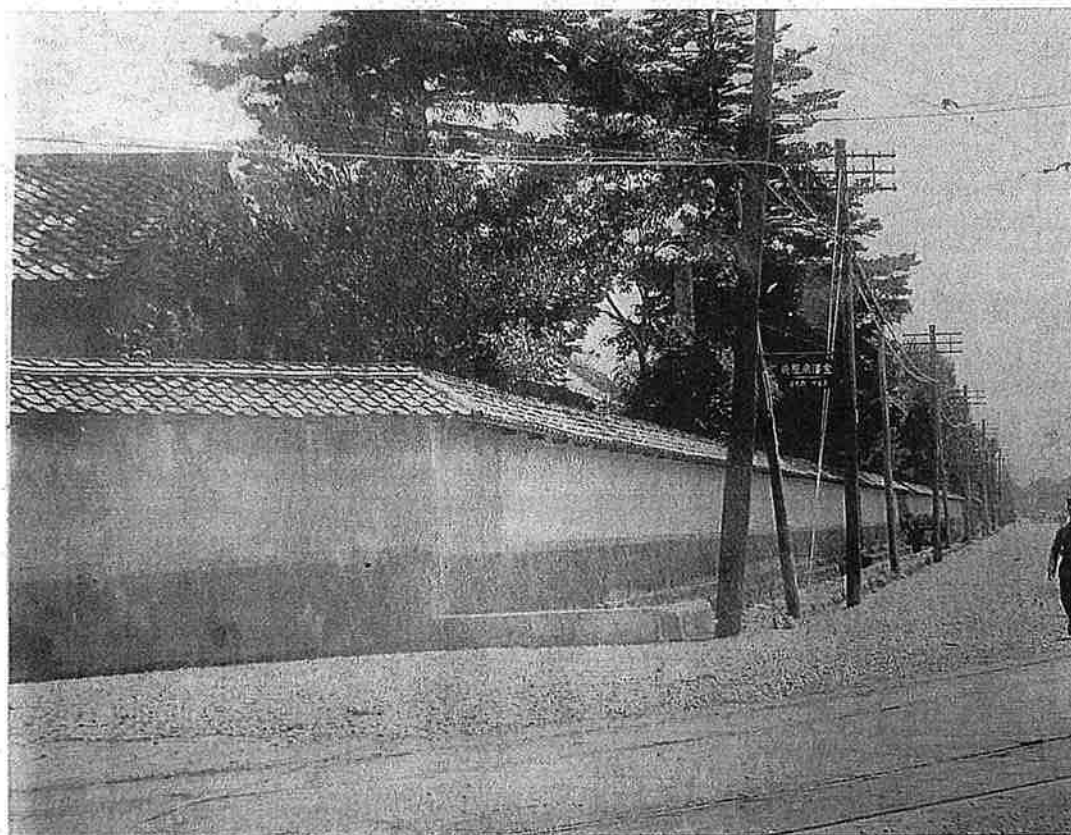
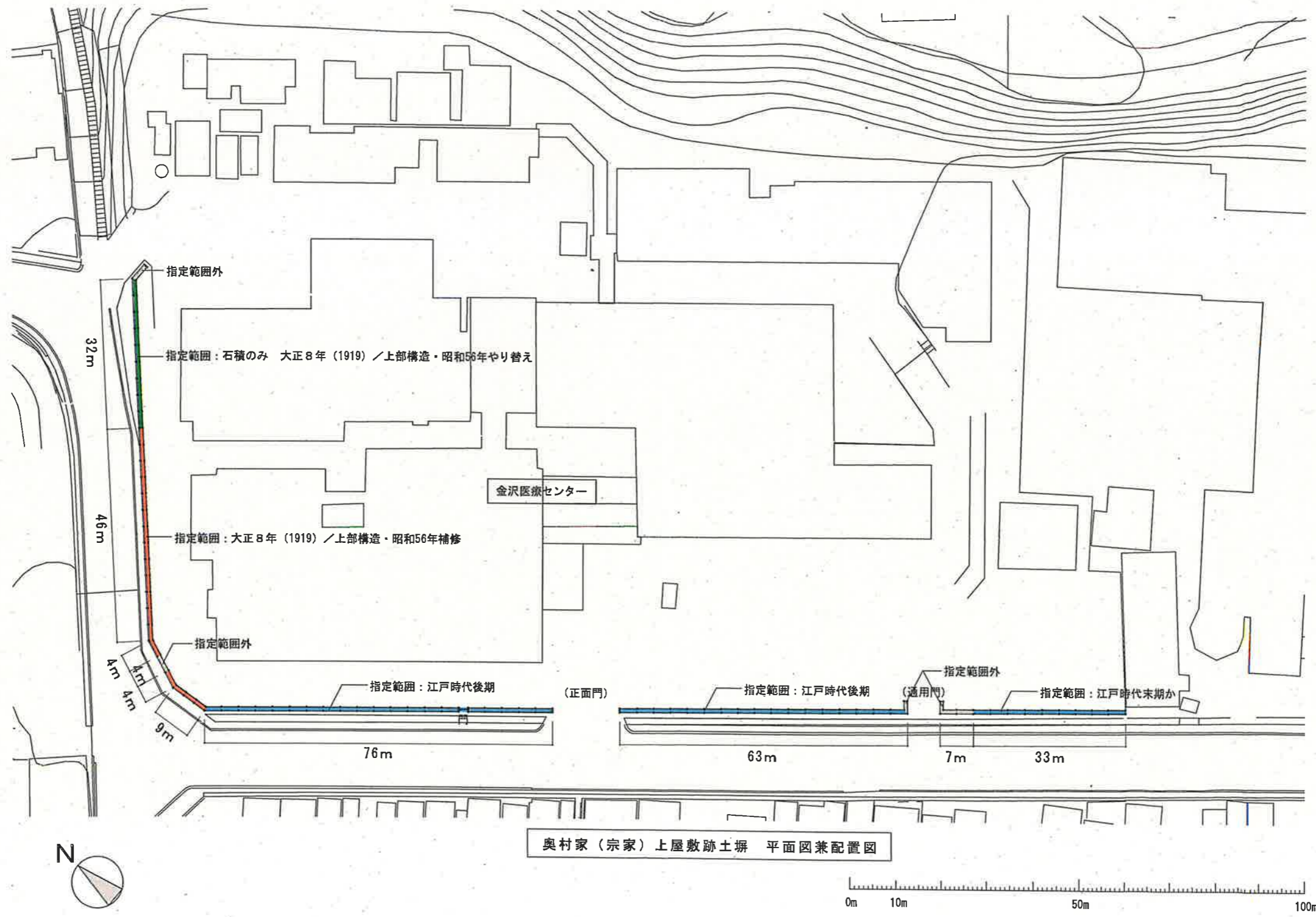


写真 11 市街電車開通後の様子（大正 8 年撮影）

『金沢市電車開通記念写真帖』（大正 8 年、金澤電気軌道株式会社発行）より



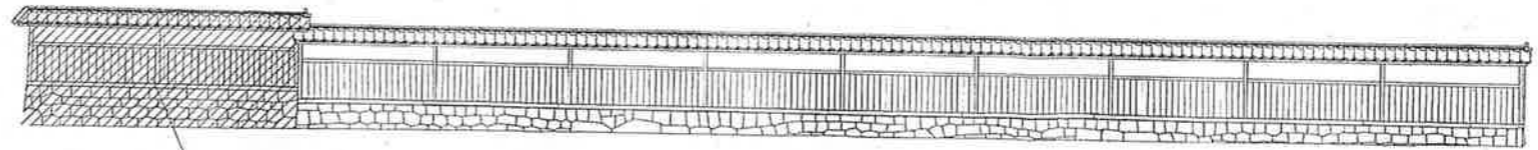




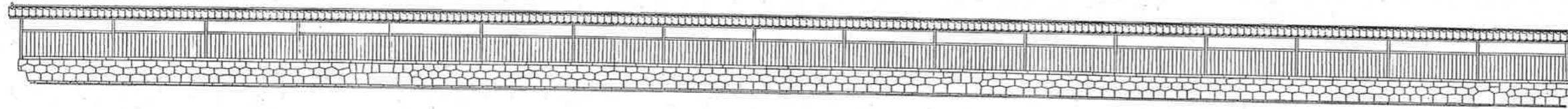
正面門左側土塀
貝型 正面図



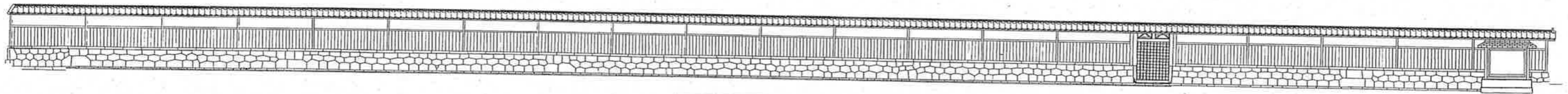
正面門右側土塀
貝型 正面図



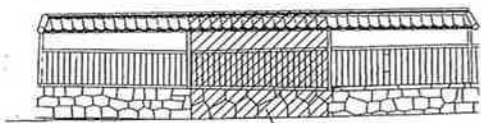
通用門右側土塀 正面図



正面門右側土塀 正面図

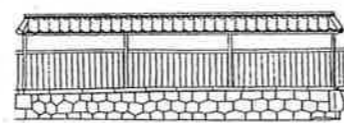


正面門左側土塀（辰巳用水浴い） 正面図

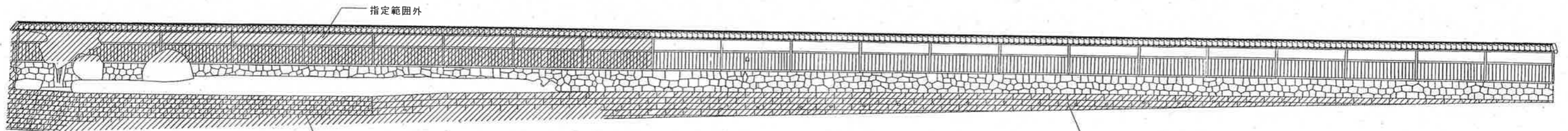


指定範囲外

隅切り部分（尻垂坂側） 正面図

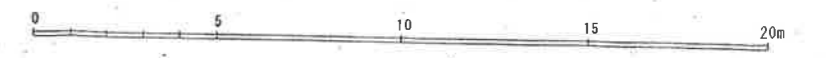


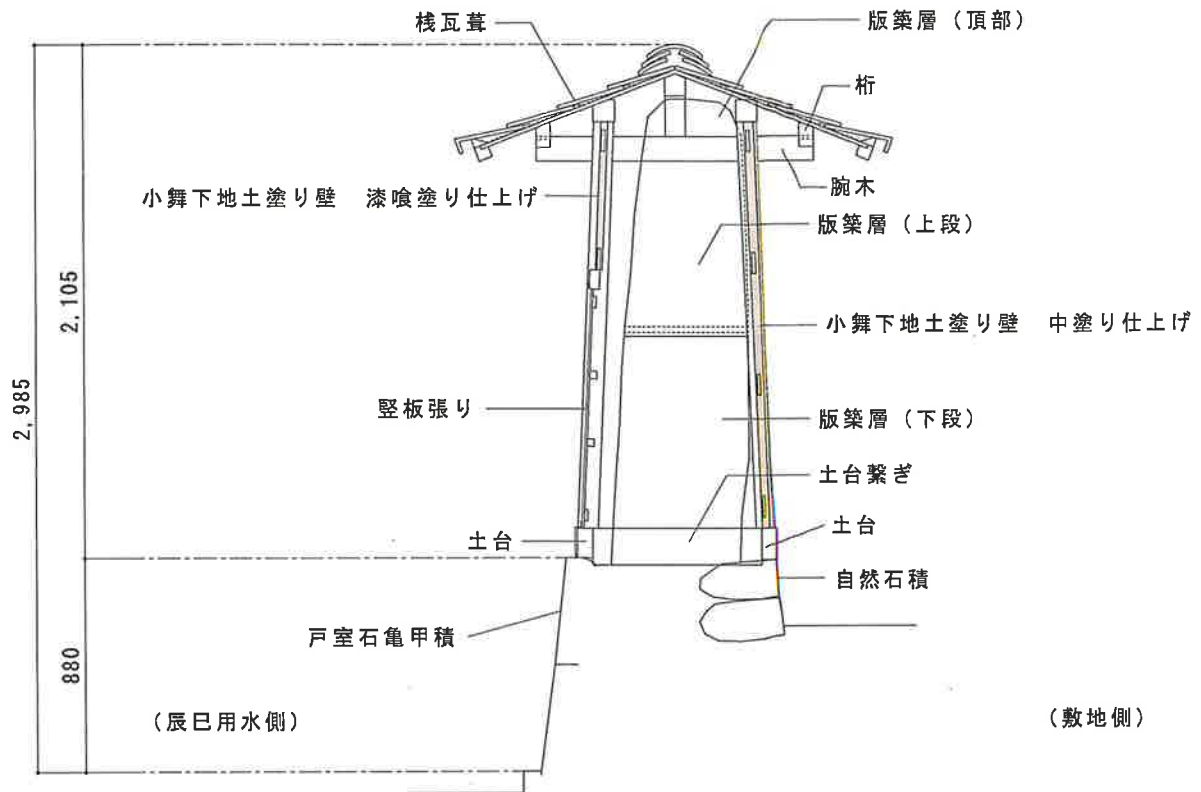
隅切り部分（辰巳用水側） 正面図



正面門左側土塀（尻垂坂沿い） 正面図

奥村家（宗家）上屋敷跡土塀 立面図





奥村家 (宗家) 上屋敷跡土塀 断面図

縮尺 1 : 30



通用門口土塀解体時写真
「国立金沢病院土塀分析調査報告書」
(昭和58年4月、大成建設株式会社) より

屋根解体後、上から内部の版築を撮影



通用門口土塀解体時写真
「国立金沢病院土塀分析調査報告書」
(昭和58年4月、大成建設株式会社) より
内部版築を撮影

銅造菩薩立像

- 1 種 別 有形文化財 彫刻
- 2 名 称 銅造菩薩立像
どうぞう ぼさつりゅうぞう
- 3 員 数 1 軀
く
- 4 所 在 地 金沢市暁町 18 番 38 号
- 5 所 有 者 宗教法人 西光寺
- 6 構造・法量・制作年代
- 構造 ろうがたちゅうぞう 蠟型鑄造（銅製）
- 法 量 総高 30.0cm
像高 24.9cm 台座高 5.1cm 左右 11.5cm 前後 10.9cm
- 制作年代 7 世紀後半

7 指定理由

西光寺は金沢市暁町に所在する真宗大谷派の寺院である。寺記によれば文明年間（1469～1486）に、栃川尼（或いは栃川中将）が初めて石川郡室江（現金沢市諸江か）に一字を創立し、西光寺と号したとされ^{注1}、天正8年（1580）2月、息源の時に現在地に堂宇を建立、移転している^{注2}。

銅造菩薩立像は、現住職によれば、明治25年（1892）に住職の祖母が富山県宮島村糠子島（現小矢部市）の稲原家から西光寺に嫁いだ際に持参したものと伝わり、現在まで同寺の「お内仏」として護持されてきた小金銅仏で、色調は深い緑青色を呈する。台座を含めた総高は30.0cmを測り、台座裏から半球状に中子^{なかご}*1を作るのみで、ほかは全形を無垢に一鑄する。後年に火中したものと考えられ、鑄肌は荒れが著しい。

像容は左右対称を基調とする。腹部を前に突き出して背を丸めた姿勢をとり、大きく長い両足指を揃え、台座上にやや前傾して立つ。屈臂して腹前で両手を組み合わせ、宝珠捧持の姿勢をとり^{注3}、側面観は扁平である。やや面長で穏やかな微笑をたたえ、天冠台^{てんくわんたい}*2に三山形の、あるいは三面頭飾を施した宝冠を戴き、付け根を紐で結んだようにも見える垂髪^{すいはつ}*3を長く表された両耳（あるいは耳飾りか）の後ろから左右両肩にかける。連珠を表した胸飾2条を着ける。天衣^{てんね}*4を両肩に纏い、膝の前面で上下二段に回し、前膊^{ぜんはく}*5にかかり台座側面中央やや後方まで垂れ、先端部は折り返してさらに下方に反転するが^{注4}、右側の天衣は肘下の遊離部が失わ

れている。中央を打ち合せにする裾^{くん}※⁶を着け、高めの位置に締めた帯を正面に垂らし、帯の先端部は両足の間から台座下端に至る。背筋の中央には凹みを表し^{注5}、天衣及び肩上の背面部は縦にひだを表す。下半身の着衣両側の断面は鋭角に鎬^{しのぎ}状となっており、前後合わせ型を用いて鑄造された可能性を残す。後頭部には光背用の柄^{ほぞ}が突き出ているが、光背は失われて現存しない。台座は反花の蓮華座で、蓮弁は正背面及び左右の四枚を主弁とし、その間に間弁四枚を表す八弁形蓮華座とする。蓮華座の裏にわずかに鍍金^{とぎん}※⁷の残存が認められる。

制作年代はその姿態と特徴から7世紀後半の作と考えられる。産地については国立歴史民俗博物館により実施された鉛同位体比分析の結果^{注6}、朝鮮半島との関連性が深い原料が使われていると推定されており、渡来仏である可能性が高いが、半島から持ち込まれた材料を鑄して国内で制作された可能性も残す。また、木菩薩立像は、鳥取県大山寺所蔵の銅造十一面観音立像（重要文化財）との像容の酷似が富山県考古学会による「越中小金銅仏調査」によって明らかにされており^{注7}、同一工人の手による「兄弟仏」の可能性が指摘されている。

このように西光寺所蔵の銅造菩薩立像は、後世の二次被熱による鑄肌の荒れはあるものの、現在までに市内で確認された最古の仏像である^{注8}。金沢のみならず日本海沿岸地域における仏像文化の歴史を考察する上で極めて重要であり、金沢市指定文化財としての価値を十分に有する。

■注記

(注1) 明治11年石川県寺院明細帳による。

(注2) 貞享2年寺社由緒書上による。

(注3) 宝珠捧持形の菩薩像は、基準作例では651年銘の観音菩薩立像（法隆寺献納宝物N-165、重要文化財）のほか、658年銘の光背（根津美術館蔵）を伴っていた大阪・観心寺の金銅観音菩薩立像（重要文化財）、法隆寺夢殿救世観音像（国宝、7世紀前半）など、飛鳥・白鳳期に遺品が散見される。

(注4) この形状は法隆寺の木造百済観音像（国宝）、同寺金堂木造四天王立像（国宝）に似る。

(注5) 背骨に沿った凹みを表す点は、基準作例では666年銘の大阪・野中寺の金銅弥勒菩薩半跏思惟像（重要文化財）に見られる。

(注6) 齋藤努「石川県金沢市・西光寺所蔵銅造菩薩立像の鉛同位体比分析結果」2018

(注7) 西井龍儀「金沢市西光寺の白鳳仏」『富山考古学会連絡誌第254号』2017

(注8) 現在、伏見寺の銅造阿弥陀如来坐像（重要文化財、9世紀前半）が最古。

■用語の説明

- ※1 中子（なかご）：中空、中心とも書く。蜜蝋鑄造に用いられる、つくられるべき像の中空部に相当する部分。土で作られることが多く、その上に蜜蝋を盛って原型を作る。その後、外側に土を被せて固めて外型とし、乾燥後に焼いて蝋を溶かしだし、生じた隙間に溶銅を流し込んで鑄造する。中子をもたない像を無垢像と呼ぶ。
- ※2 天冠台（てんかんだい）：宝冠を支える輪。
- ※3 垂髪（すいはつ）：菩薩像や天部像などの仏像で、肩まで垂れた髪のこと。
- ※4 天衣（てんね）：菩薩像や天部像が着けている薄物の長い布。
- ※5 前膊（ぜんはく）：腕の肘から手首までの部分。
- ※6 裙（くん）：仏、菩薩、天部などが腰から下に纏う衣。裳ともいう。
- ※7 鍍金（とぎん）：塗金とも書き、滅金ともいう。製品の表面に金や銀などを付着させる金工加飾技法の一つ。対象物に水銀と金または銀を混ぜたものを塗布し、加熱して水銀を蒸発させ、金または銀のみを定着させる。

■各部の名称





銅造菩薩立像



正面



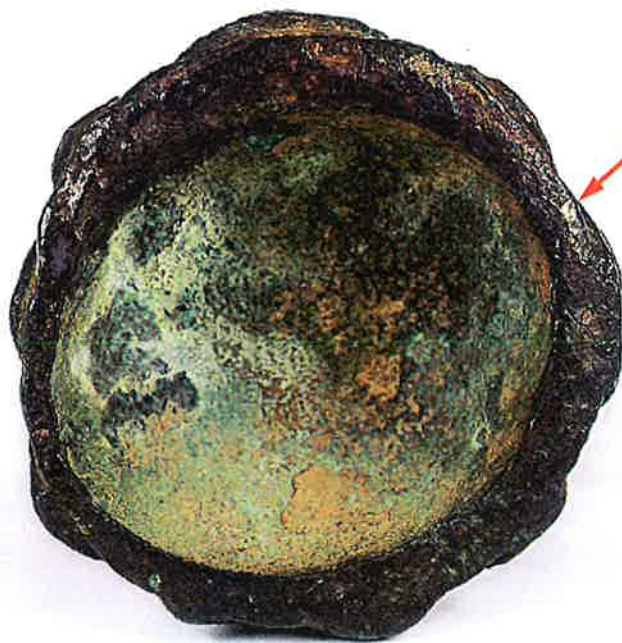
左側面



背面



右側面



鍍金

台座裏面（上が正面。右上縁にわずかに鍍金が残る。）

資 料
報告第 1 号

令和元年度「金沢市いじめアンケート」調査結果について

令和元年度「金沢市いじめアンケート」集計結果

【調査人数】 小学校：23,032名（1～3年 11,341名、4～6年 11,691名）
 中学校：10,643名 高等学校：673名

問1 あなたは、次にあげたことがらを「いじめ」だと思いますか。
 【割合は、それぞれの項目で「いじめだと思う」もの】

	小学校		中学校		高等学校	
	R1年度	H30年度	R1年度	H30年度	R1年度	H30年度
(1) 嫌がることを何度も言う	95.8%	95.7%	97.1%	96.3%	94.9%	93.0%
(2) 黒板に悪口を書く	95.5%	95.5%	98.2%	98.2%	96.1%	96.5%
(3) クラスのみんなが無視をする	95.5%	95.6%	98.5%	98.4%	98.5%	98.3%
(4) 遊ぶふりをして何度も叩く	95.3%	95.2%	96.6%	96.4%	94.8%	93.1%
(5) お金や物を持って来いと言う	93.9%	93.8%	96.6%	96.9%	95.1%	94.4%
(6) ズックなど、持ち物を隠す	95.7%	95.6%	98.0%	97.8%	95.8%	95.4%
(7) ふざけて服を脱がせる	95.4%	95.4%	97.9%	97.6%	95.5%	94.1%
(8) ばい菌扱いして近寄らない	95.4%	95.4%	98.4%	98.3%	98.5%	98.3%
(9) 危険なことをさせる	95.8%	95.8%	97.9%	97.7%	97.3%	95.5%
(10) メールで悪口を送る	95.8%	96.0%	97.9%	97.7%	97.2%	95.1%

問2 今の学年になって、あなたはいじめられたことがありますか。

	小学校		中学校		高等学校	
	R1年度	H30年度	R1年度	H30年度	R1年度	H30年度
ア 今、いじめられている	5.9%	7.0%	1.5%	1.2%	0.7%	0.1%
イ 今はいじめられていない	20.3%	21.0%	4.4%	4.3%	1.0%	1.0%
ウ ない	73.8%	72.0%	94.1%	94.5%	98.2%	98.9%

問3 どんないじめを受けていますか(受けましたか)。(複数回答可・問2ア+イのうち)
 【ただし、小学校は4年～6年】

	小学校		中学校		高等学校	
	R1年度	H30年度	R1年度	H30年度	R1年度	H30年度
ア 冷やかし、からかい	50.9%	53.1%	68.8%	68.7%	50.0%	50.0%
イ 仲間はずれ、無視	23.2%	25.2%	34.1%	36.1%	33.3%	25.0%
ウ 遊ぶふりしてたたかれる	25.3%	26.3%	24.5%	25.3%	33.3%	12.5%
エ ひどくたたかれる	16.9%	16.4%	15.4%	11.7%	8.3%	0.0%
オ お金や物をたかられる	1.9%	2.0%	4.0%	4.2%	0.0%	0.0%
カ お金や物を盗まれる	10.1%	10.9%	11.2%	13.2%	8.3%	0.0%
キ 嫌なこと恥ずかしいこと	10.4%	11.2%	11.2%	13.4%	8.3%	12.5%
ク インターネットで悪口	1.3%	1.4%	5.8%	7.4%	16.7%	25.0%
ケ その他	17.4%	15.4%	12.2%	10.5%	16.7%	0.0%

問4 いじめられた時、どのような気持ちになりましたか。
 (複数回答可・問2ア+イのうち)

	小学校		中学校		高等学校	
	R1年度	H30年度	R1年度	H30年度	R1年度	H30年度
ア 恐かった	23.2%	22.2%	24.0%	27.1%	8.3%	12.5%
イ つらかった	44.2%	42.3%	57.3%	59.2%	33.3%	75.0%
ウ 悲しかった	46.8%	45.1%	43.4%	44.1%	16.7%	37.5%
エ 悔しかった	28.8%	27.9%	36.2%	32.9%	8.3%	37.5%
オ 腹が立った	45.2%	46.0%	62.1%	61.2%	50.0%	87.5%
カ いつかやり返そうと思った	19.4%	19.8%	22.6%	25.6%	41.7%	25.0%
キ 恥ずかしかった	7.1%	7.9%	11.0%	13.5%	0.0%	12.5%
ク 何も思わなかった	5.1%	5.4%	4.5%	7.4%	8.3%	0.0%
ケ その他	0.0%	8.3%	9.6%	6.9%	0.0%	25.0%

問5 いじめられた時、どうしましたか。(複数回答可・問2ア+イのうち)

	小学校		中学校		高等学校	
	R1年度	H30年度	R1年度	H30年度	R1年度	H30年度
ア 我慢できたので、何もしない	38.9%	38.8%	37.6%	36.1%	25.0%	25.0%
イ 相談できず、何もしない	19.6%	19.6%	18.2%	18.4%	0.0%	12.5%
ウ 言われたとおりにした	5.1%	5.1%	3.8%	6.4%	0.0%	0.0%
エ やめろと言いつ返した	42.9%	44.1%	26.1%	26.4%	41.7%	12.5%
オ 助けを求めた	10.9%	10.7%	23.8%	21.4%	8.3%	62.5%
カ 笑ってごまかした	9.7%	9.1%	25.6%	27.1%	25.0%	37.5%
キ その他	12.7%	11.6%	13.8%	11.7%	8.3%	0.0%

問6 その後、誰に相談しましたか。(複数回答可・問2ア+イのうち)

	小学校		中学校		高等学校	
	R1年度	H30年度	R1年度	H30年度	R1年度	H30年度
ア 担任	39.3%	40.0%	37.0%	38.8%	25.0%	50.0%
イ 養護教諭	2.2%	2.3%	4.6%	4.8%	0.0%	12.5%
ウ それ以外の先生	5.0%	5.7%	8.6%	9.0%	0.0%	0.0%
エ 学校の相談員	1.1%	1.2%	3.2%	3.5%	0.0%	12.5%
オ いじめ相談電話	0.6%	0.8%	2.4%	2.0%	0.0%	0.0%
カ 家族	51.7%	50.4%	42.2%	40.6%	25.0%	50.0%
キ 友達	25.6%	26.7%	28.0%	24.7%	16.7%	25.0%
ク その他	2.5%	2.1%	1.9%	2.2%	0.0%	0.0%
ケ 誰にも相談しない	22.4%	23.3%	27.2%	32.6%	33.3%	25.0%

問7 誰にも相談しなかった理由は何ですか。(複数回答可・問6ケのうち)
【ただし、小学校は4年～6年】

	小学校		中学校		高等学校	
	R1年度	H30年度	R1年度	H30年度	R1年度	H30年度
ア 余計にいじめられるから	22.6%	28.8%	21.2%	19.5%	25.0%	0.0%
イ つげ口と思われるのが嫌	11.9%	18.4%	21.2%	17.9%	25.0%	50.0%
ウ 相談しても何もしてくれない	12.8%	16.7%	25.9%	25.1%	0.0%	50.0%
エ どうせ解決しない	28.3%	25.8%	50.6%	42.1%	50.0%	0.0%
オ 恥ずかしいことだから	5.2%	7.5%	4.1%	8.2%	0.0%	0.0%
カ 自分の問題だから	17.4%	16.2%	19.4%	18.5%	0.0%	50.0%
キ 迷惑をかけたくない	40.8%	38.6%	40.0%	40.0%	50.0%	50.0%
ク その他	15.9%	16.9%	18.2%	15.9%	0.0%	0.0%

問8 相談後、いじめはどうになりましたか。(問6ア～クのうち)
【ただし、小学校は4年～6年】

	小学校		中学校		高等学校	
	R1年度	H30年度	R1年度	H30年度	R1年度	H30年度
ア いじめられなくなった	61.6%	61.7%	60.0%	62.3%	12.5%	83.3%
イ 余計ひどくなった	2.6%	2.4%	3.1%	2.7%	12.5%	0.0%
ウ 前と変わらない	35.8%	35.9%	36.9%	35.0%	75.0%	16.7%

問9 今の学年になって、あなたのクラスで、いじめられた人のことを見たり聞いたりしたことがありますか。

	小学校		中学校		高等学校	
	R1年度	H30年度	R1年度	H30年度	R1年度	H30年度
ア ある	26.2%	27.8%	6.4%	6.0%	1.6%	0.8%
イ ない	73.8%	72.2%	93.6%	94.0%	98.4%	99.2%

問10 その時どうしましたか。(複数回答可・問9アのうち)
【ただし、小学校は4年～6年】

	小学校		中学校		高等学校	
	R1年度	H30年度	R1年度	H30年度	R1年度	H30年度
ア いじめを止めた	22.4%	23.4%	14.7%	13.6%	0.0%	16.7%
イ 先生に知らせた	29.7%	31.8%	19.7%	18.8%	18.2%	16.7%
ウ いじめられた人をなぐさめた	31.8%	32.3%	28.4%	26.8%	27.3%	0.0%
エ いじめる方の仲間について	4.9%	4.3%	8.0%	8.7%	0.0%	16.7%
オ いじめをはやし立てた	0.9%	0.9%	3.2%	2.9%	0.0%	16.7%
カ いじめを見ていた	27.4%	26.7%	29.6%	31.7%	45.5%	50.0%
キ いじめを見たのに気づかない振り	11.5%	9.8%	20.9%	21.5%	27.3%	33.3%
ク その他	9.8%	9.8%	12.7%	12.3%	0.0%	0.0%

問11 今の学年になって、あなたはいじめたことがありますか。

	小学校		中学校		高等学校	
	R1年度	H30年度	R1年度	H30年度	R1年度	H30年度
ア 今、いじめている	0.8%	0.9%	0.2%	0.3%	0.0%	0.0%
イ 今はいじめていない	9.6%	9.8%	2.5%	2.5%	0.4%	0.1%
ウ ない	89.6%	89.3%	97.2%	97.2%	99.6%	99.9%

問12 あなたがいじめをした理由は何ですか。（複数回答可・問11ア+イのうち）
【ただし、小学校は4年～6年】

	小学校		中学校		高等学校	
	R1年度	H30年度	R1年度	H30年度	R1年度	H30年度
ア おもしろいから	6.3%	5.4%	15.0%	13.9%	0.0%	0.0%
イ なんとなく	22.9%	25.0%	24.8%	29.7%	66.7%	0.0%
ウ むしゃくしゃしたから	19.2%	21.9%	13.9%	13.9%	0.0%	100.0%
エ みんながするから	21.1%	17.9%	28.6%	29.7%	33.3%	0.0%
オ 自分がいじめられる	13.0%	12.8%	10.5%	13.2%	0.0%	0.0%
カ 自分と違うところがある	3.9%	4.2%	5.1%	4.6%	0.0%	0.0%
キ 気に入らないところがある	12.1%	15.1%	16.3%	17.5%	0.0%	100.0%
ク その他	21.1%	16.4%	15.3%	12.2%	0.0%	0.0%

問13 あなたはいじめについて、次の（1）～（6）のことをどう思いますか。

（1）どんな理由があっても、絶対にいけないことだ

	小学校		中学校		高等学校	
	R1年度	H30年度	R1年度	H30年度	R1年度	H30年度
ア 思う	91.5%	91.2%	91.9%	90.8%	93.0%	91.6%
イ 思わない	1.9%	1.9%	2.4%	2.6%	2.4%	3.6%
ウ わからない	6.6%	6.9%	5.7%	6.6%	4.6%	4.8%

（2）いじめられる人も悪いところがある

	小学校		中学校		高等学校	
	R1年度	H30年度	R1年度	H30年度	R1年度	H30年度
ア 思う	27.8%	29.9%	31.3%	34.0%	38.5%	45.2%
イ 思わない	34.5%	32.7%	20.1%	19.4%	17.1%	11.7%
ウ わからない	37.7%	37.3%	48.6%	46.6%	44.4%	43.1%

(3) いじめられたら、しかえしをすればよい

	小学校		中学校		高等学校	
	R 1年度	H 30年度	R 1年度	H 30年度	R 1年度	H 30年度
ア 思う	7.5%	7.8%	15.0%	15.6%	24.4%	23.6%
イ 思わない	83.2%	82.4%	67.5%	65.3%	54.5%	52.2%
ウ わからない	9.2%	9.8%	17.5%	19.1%	21.1%	24.2%

(4) いじめを見ても、人のことだから気にしない

	小学校		中学校		高等学校	
	R 1年度	H 30年度	R 1年度	H 30年度	R 1年度	H 30年度
ア 思う	6.8%	7.2%	10.0%	10.8%	11.4%	11.6%
イ 思わない	81.4%	81.0%	73.7%	71.3%	70.0%	64.6%
ウ わからない	11.8%	11.8%	16.3%	17.9%	18.6%	23.8%

(5) いじめを注意すると自分もいじめられないか心配だ

	小学校		中学校		高等学校	
	R 1年度	H 30年度	R 1年度	H 30年度	R 1年度	H 30年度
ア 思う	57.6%	55.3%	53.2%	53.9%	45.3%	45.5%
イ 思わない	26.5%	28.0%	25.6%	24.9%	34.9%	31.5%
ウ わからない	15.9%	16.7%	21.2%	21.2%	19.8%	23.1%

(6) いじめを見たら、やめるように言いたい

	小学校		中学校		高等学校	
	R 1年度	H 30年度	R 1年度	H 30年度	R 1年度	H 30年度
ア 思う	86.2%	85.8%	76.6%	74.5%	77.0%	72.2%
イ 思わない	3.6%	3.5%	3.7%	3.9%	4.0%	5.2%
ウ わからない	10.3%	10.6%	19.7%	21.6%	19.0%	22.7%